

私の仕事

株式会社松尾設計／公共設計部水道グループ 福本千夏



1. はじめに

私は、2021年に株式会社松尾設計に入社し、現在3年目になります。公共設計部水道グループに配属され配管の設計や計画をする業務に携わっています。専門学校では土木工学科を専攻していました。ドローンの操作や施工に関する勉強が多く、上下水道に関しては一切勉強したことがありませんでした。そんな私が今まで携わった業務と、北九州のご当地マンホールについて紹介したいと思います。

2. 会社のこと

(1) 沿革

当社について簡単に紹介いたします。松尾設計は1959年（昭和34年）に北九州市八幡東区枝光に事務所を設立しました。その後1965年（昭和40年）に本社を北九州市八幡東区西本町（麻生ビル）に移転し、1968年（昭和43年）に松尾本社ビルを同じく西本町に新築し北九州に建設コンサルタントとしての拠点を確立しました。その後東京本部、広島支店、18の事務所を設立し今日に至っております。

当社は土木、建築、上下水道部門の企画、調査、測量、設計、監理などを手掛けています。「小回りの利いた機動力」「丁寧な対応」「正確な業務」が当社の持ち味です。



写真－1 社屋

(2) はじめて携わった業務

入社してはじめて携わった業務は、配水管の新設設計で既設の配水管に接続するという業務でした。最初は口径の表記で使われる「 ϕ 」の意味や読み方すら分かりませんでした。そんな状態で上司と一緒に協議に同席したり現地調査、図面や数量作成など行ったりしました。一から全部丁寧に教えてもらいました。専門知識は理解できたことやピンと来ないこともありましたがこの業務を通して計画から設計、製図、数量計算など業務の一連の流れを把握することができました。

(3) 印象に残った業務

2年目の時に行った配水管の布設替の設計計画は学ぶことの多い業務でした。この業務は古い配水管を布設替するもので業務目的はシンプルでした。布設ルートには橋梁があり、初めて添架管の設計計画をしました。添架管の管種検討があり、今までは鋳鉄管のみだったので、ほかの管種に触れたのは初めてでした。管種ごとのメリットデメリットといった特徴について知れるいい機会でした。既設管を供用した状態で布設し重量は大丈夫なのか？親柱（河川名や橋の名前、竣工年月が記された柱）の貫通はどうするのか？といった添架管ならではの問題にいくつか直面しましたが、何とか対応することができました。

また対象配水管が含まれる配水ブロックは、電鉄軌道部を横断して維持管理が難しい箇所が何箇所もあり、削減可能な箇所を決定して頂きたいと要望がありました。そこで初めて管網計算を行うことになりました。水圧などについて詳しく学びました。火災時の水圧も考慮しなければならず、負圧になるたびに管径や管網を調整し大変でした。そして管網計算により削減可能な箇所を何箇所か決定しました。維持管理しやすくなると喜ばれやがいを感しました。

この時、逆流箇所があり、逆流により「赤水」が発生することを知りました。赤水は管の錆だけでなくそんな理由で発生することもあるのだと思いました。

この仕事では初めてすることや学ぶことが多くとても印象に残りました。初めてすることは新鮮で楽しかったです。

3. ご当地マンホール

各地域独特の意匠を取り入れたご当地マンホール。北九州にも魅力のあるご当地マンホールがあるので3種類紹介したいと思います。

(1) 銀河鉄道999



写真-2 銀河鉄道999 マンホール

北九州ゆかりの漫画家である松本零士氏の作品と連携したデザインマンホールです。写真のマンホール蓋は「銀河鉄道999」の「メーテル」がデザインされており、小倉駅周辺に1箇所と、北九州空港に1箇所あります。これ以外にも「銀河鉄道999」の「9」にちなんで「大山トチロー」や「車掌」などの9種類のデザインマンホールが小倉駅周辺にあります。メーテルの美貌が大きくシンプルに印刷されているので私は10種類の中で一番印象に残りました。

(2) 官営八幡製鐵所旧本事務所



写真-3 官営八幡製鐵所旧本事務所マンホール

官営八幡製鐵所旧本事務所がデザインされたマンホールです。世界文化遺産に登録されたことを受け製作されました。JRスペースワールド駅周辺に10箇所設置されています。外観写真の下には建物の特徴や歴史などが紹介されています。明治日本の産業革命といわれる八幡製鐵所は当社とも業務で関わりがあります。

(3) ギラン君



写真-4 ギラン君マンホール

2017年北九州をホームタウンとするプロサッカークラブチーム「ギラヴァンツ北九州」の新たなホームスタジアムが完成しました。これを受けてオフィシャルクラブマスコット「ギラン」のデザイン蓋を製作しました。小倉駅周辺に5箇所設置してあります。ギラヴァンツというチーム名は、イタリア語で「ひまわり」という意味の「Girasole」と「前進する」という意味の「Avanzare」を組み合わせています。ひまわりは市の花でもあります。「WE♥KITAKYUSHU」、「がんばれギラヴァンツ北九州」と記載されており、北九州を一目で感じられるデザインになっています。発色の良い黄色は力強いギラン君のたくましいビジュアルを際立たせていてかっこいいなと思いました。

4. おわりに

入社して3年目になりますが今も学ぶことの多い毎日です。この仕事は細かい作業が多かったり、真夏や真冬に現場に行くこともあったりと嫌になることもありますが、やりがいのある仕事なので、何だかんだ楽しくやっています。まだまだ未熟で、自分の考えを持つことや、協議などで人に説明することを苦手としています。少しでも早く一人前の技術者になれるように経験や知識を積んでいきたいです。

今回、過去に携わった業務を振り返ることでそんなこともしたな～と懐かしい気持ちになりました。1つ1つの業務が場所や内容が異なるので、思い返したときに感慨深いのがこの仕事の特徴なのかなと思います。北九州をはじめ、市外や県外いろんなところの業務にこれからも携わっていきたいです。

上下水道施設の多くは、供用開始後、市民の目にふれることはほぼありませんが、陰ながら人々の生活を支える重要なこの仕事を続けていけたらいいなと思います。